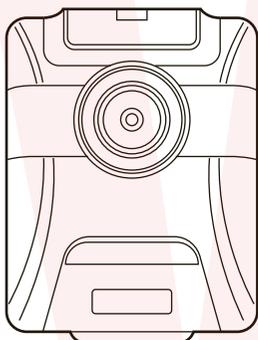


取扱説明書

型番:GPSDRRCBK



保証期間: 購入日より1年間

※納品書・レシート等が保証書の代わりとなります。

● 使用上のご注意

USB プラグ、コード類について

- USB プラグや USB ケーブルを交換したり、傷付けたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを乗せたり、束ねたりしない。
 - 傷んだ USB プラグや USB ケーブルは絶対に交換、分解、修理、改造をしない。
 - USB プラグや USB ケーブルが破損した場合は直ちに使用を中止する。
 - USB プラグは根元まで確実に差し込み、傷んだ USB プラグや USB ケーブルは使わない。
 - ぬれた手で USB プラグを抜き差ししない。
 - 使用時以外は USB プラグを差したままにしない。
 - 持ち運び時や収納時に USB ケーブルを引っ張らない。
 - USB ケーブルを機器にはさまない、USB ケーブルを引っ張ったまま使用しない。
 - 本体、USB プラグにほこりが溜まっていないか定期的に点検する。
 - USB プラグ、USB ケーブルの差しこみがゆるい時は使用しない。
 - 使用中 USB ケーブルの上に物をのせない。
 - USB プラグの抜き差しは、先端をもって行い、USB ケーブルは引っ張らない。
- ※使用中 USB プラグや USB ケーブルが異常に熱くなったり煙や異臭が出るようなときは直ちに使用を中止してください。

● 内蔵バッテリーについて

- 内蔵バッテリーは、充電して保存しても自然に放電しますので、使用する直前または前日頃に充電してください。
- 充電するときは、周囲の温度が 10℃～30℃(人間が快適と感じる温度)の範囲で充電してください。
- 温度が低くなるほど充電しにくくなり、バッテリーを消耗させます。また、高温では十分な充電ができません。
- 充電中や使用中、バッテリーが温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 保管するときは約 50% 充電状態で保管してください。バッテリーは自然放電しますので使い切った状態で保管すると使用できなくなる恐れがあります。保管の際は次のように保管してください。
- 充電ケーブルを差し、使い切った状態から 30 分程度充電してケーブルをはずしてください。
- 涼しい場所で保存してください。
- 高温条件、過放電(電池を使い切った状態)、過充電(満充電でも充電器につないだままの状態)状態での保存はしないで下さい。
- 半年に最低一度は必ずご使用ください。消耗の防止になります。
- 10℃～35℃の乾燥した場所で保管してください。
- 充電可能回数は約 300 回です。

● 電池のリサイクルについて



Li-ion

本製品は、リチウムイオン電池を内蔵しています。この電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの製品を廃棄・リサイクルする場合は、地方自治体の指示に従ってください。

安全上お守りいただきたいこと



- 本体を水につけたり、水をかけたりしない。(ショート・感電のおそれ)
- 改造や分解をしない。修理技術者以外の人は分解したり、修理をしない。(火災・怪我の原因)

● 安全上のご注意

必ずお守りください

ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、必ずお守りください。
※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守って下さい。この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう、大切に保管してください。



警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意 この注意に従わずに、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

重要
ドライブレコーダーの記録用SDカードはとも過酷な条件で動いています。よって1~2週間に1回本製品でフォーマットを行ってください。

● 安全上のご注意

- 次のような場所で使用したり保管しない。
 - ・ 屋外や窓際など直射日光のある場所・強い光があたる場所・異常に温度が高くなる場所・湿度が高い場所・油煙が当たる場所(火災・変形・故障の原因)
- 子どもや不慣れな方に使わせたり、乳幼児の手の届くところで使わない。(事故・怪我の原因)
- 本体の隙間にピンや針金など金属物や異物を入れない。(故障の原因)
- 製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する。(製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・ショート・怪我などの原因)
- 本体がいつもと違って異常に熱くなり、焦げ臭いにおいがする・本体が動作しないなど上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電池を本体から抜いて、お買い上げの販売店またはサポートセンターまでご連絡ください。



- 落としたり、強いショックを与えない。(破損・故障の原因)
- 濡れた手で操作しない。(感電の原因)
- 本体の近くに磁石などの磁気を帯びた素材を置かない。(故障の原因)
- 結露したまま使い続けない。(故障・発熱の原因)

取り付けについて



- 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、自動車の機能の妨げにならない場所に取り付ける。(交通事故の原因)
- エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしなない。(事故・怪我の原因)



- フロントガラスへの取り付けは道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が決まっています。フロントガラスの下の線から 15cm 以内の取り付けが可能です。フロントガラス上部 20% の範囲での取り付けを推奨します。
- 取り付けは確実に。また定期的に点検を行う。(怪我・事故・物的損害のおそれ)
- 接続部は確実に奥まで差し込む。(火災・感電・故障の原因)

USB ケーブルについて



- USB ケーブルは確実に差し込む。(火災の原因)
- お手入れの際は USB ケーブルを抜く。(感電の原因)
- 分岐シガーソケットアクセサリー等は使わず、シガーライターソケットは単独で使用する。(異常加熱・発火の原因)
- シガーライターソケットやシガープラグコードのマイナス端子、プラス端子の汚れはよく拭く。(火災の原因)



- シガープラグ、USB ケーブルを抜くときは、USB ケーブルを引っ張らない。(感電・ショート・発火の原因)
- エンジンも切ってもシガーライターソケットに常時電源が供給される車種の場合、使用しない時はシガープラグ、USB ケーブルを抜いてください。

本体の操作・運転について



- 走行中に運転者による操作、画面の注視をしない。(処罰の対象、交通事故・怪我の原因)
- 海外では使用しない。(本製品は国内仕様です)
- 急発進、急ブレーキをかけたりしない。(安全運転上危険、怪我・事故・物的損害のおそれ)

microSD カードについて



- microSD カードの出し入れは本体の電源が ON になっていないことを確認する。(データ破損の原因)
- microSD カードは挿入方向を確認して挿入する。(無理に押し込むと故障の原因)

お手入れについて



- カメラのレンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて拭く。
- お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコール、灯油などの溶剤や薬品類、磨き粉などは使用しない。(ひび割れ・感電・引火のおそれ)

● セット内容



- ① 本体
- ② 吸盤アタッチメント
- ③ シガープラグ
- ④ USB ロングケーブル(350cm)
- ⑤ USB ケーブル(75cm)
- ⑥ ケーブルクリップ
- ⑦ 内装剥がし(適宜ご利用ください)

ご注意

ご購入時、液晶画面と前後カメラレンズに液晶保護のビニール(商品到着時までには液晶面に傷がつかないように)が貼り付けられている場合がございます。指でつまみ剥がしてご利用ください。

● 各部説明



ドライブレコーダーの記録用SDカードはとても過酷な条件で動いています。よって1~2週間に1回本製品でフォーマットを行ってください。ご使用前に必ず、microSDカードを本製品でフォーマットしてください。(※パソコンでフォーマットを行わないでください)
フォーマット方法については次ページを参照してください。

microSD カードに関する注意

- ・microSD カードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。電源オンの状態で microSD カードの出し入れを行うと、microSD カードの破損やデータの消失などを起こす場合があります。
- ・microSD カードは NAND 型フラッシュメモリとコントローラから構成されており、不良セクタが発生する場合があります。不良セクタにはデータが書き込まれませんが、データの記録が繰り返されると不良セクタの位置が判断できなくなり、見かけ上の記録可能領域が減少します。不良セクタを修復し、安定してご使用いただくため、1~2週間に一度、フォーマットを行うことをおすすめいたします。
- ・microSD カードは消耗品です。定期的に新品に交換してください。長期間使用すると、不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなったり microSD カードのエラーで使用できなくなる場合があります。
- ・重要な記録データはパソコンなどの別媒体での保管をおすすめします。
- ・microSD カードは必ず本製品でフォーマットしてからご使用ください。
- ・microSD カード内に本商品データ以外は入れないでください。動作が不安定になる場合があります。
- ・microSD カードの消耗に起因する故障や損傷については、当社は一切の責任を負いません。
- ・本製品使用中にデータが消失した場合、データ等の保証について、当社は一切の責任を負いません。

● ドライブレコーダーを設置する

カメラ本体上部にあるミゾに、アタッチメントを合わせてスライドさせます。突き当たるまで奥に差し込んでください。



吸盤をガラス面にしっかりくっつけて、吸盤下にあるツマミをロック側に回します。落下しないか確認して下さい。



● microSDカードのセット

カード印刷面がモニター側になるように、カード挿入口にセットします。カチッと音がするまで爪先で押し込んでください。

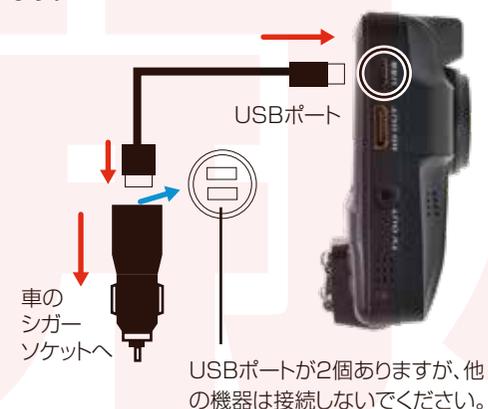


カードを抜く時は、カードを爪先で押し込むと、カードが出てきますので、挿んで抜いて下さい。
カードの着脱は必ず電源OFFにして行ってください。

容量の少ないmicroSDカードを使用した場合、短時間の録画しかできません。またロックされたファイルが増える事でループ撮影ができず撮影が止まってしまう場合がございます。

● ケーブルの接続

- ①車のエンジンをかける前に、付属のシガープラグにUSBケーブルを差し込みます。本製品には2種類のUSBケーブルが付属しています。設置状況により、どちらかのUSBケーブルを使用してください。
- ②USBケーブルを本体側面のmicroUSBポートに差し込みます。
- ③シガープラグを車のシガーライターソケットに差し込みます。



- ④ケーブルが視界を妨げないように、注意してください。必要に応じて、付属の内装剥がしとケーブルクリップを使用してください。

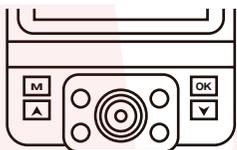


- GPS衛星受信と車載電子機器について
 車のナビ本体や地デジチューナー、衛星放送受信機などの車載電子機器からの漏れ電波により、GPS衛星を受信できないことがあります。そのような場合、車載電子機器から離し、GPS衛星の受信に影響のない箇所へ取り付けてください。

初期設定

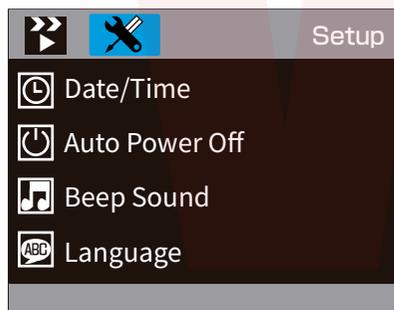
● 日本語表示にする

Mボタン
上選択ボタン



OKボタン
下選択ボタン

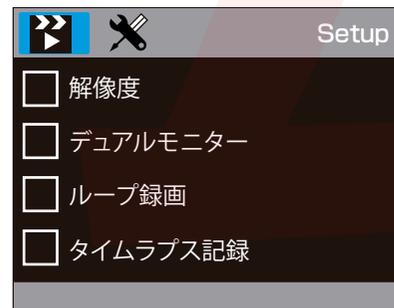
- ①車のエンジンをかけると、本製品の電源が入り自動的に録画が開始されます（赤い●が点滅します）
【OK】ボタンを押して、録画を止めます。
- ②【M】ボタンを2回押します。
メニュー画面が表示されます。（工具アイコンが青選択されている状態）



- ③【下選択】ボタンを4回押して「Language」が選択されたら【OK】ボタンを押します。
- ④【下選択】ボタンを押し続けると「日本語」がありますので、選択状態にして【OK】ボタンを押すと、日本語メニューに変わります。
- ⑤【M】ボタンを1回押すと、メニューから抜けます。

● ループ録画・動作検知設定の確認

- ①【M】ボタンを1回押します。
（左のアイコンが青選択されている状態）
- ②【下選択】ボタンを3回押し、ループ録画を選択します。
- ③【OK】ボタンを押します。
- ④【上下】ボタンでご希望の分を選択し、【OK】ボタンを押します。
ループ録画はオフ・1分・3分・5分から選択できます。
「オフ」の場合、録画ファイルは撮影データが1ファイルとして保存され、SDカードの容量がいっぱいになると、録画を停止します。**繰り返し録画を行いたい場合は、オフは選択しないでください。**



初期設定では「3分」となっています。
例えば3分を選択した場合、撮影したファイルは3分で1ファイルとなります。
確実に撮影ファイルを残したい場合は、短めに設定する事をお勧めいたします。（但しファイル数は多くなりません）長めに設定すると、何らかの問題が起きた場合、撮影データを残せなくなる可能性があります。
例)
5分に設定した場合、録画開始から5分間の間何らかの影響で機器に問題が起きた場合、その時の録画ファイルは保存されない可能性があります。1分に設定している場合だと、録画開始から1分間+1分間、合わせて2分間の間は録画ファイルの保存が終了しているため、大事な場面が残せる可能性が高くなります。

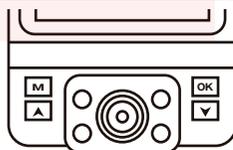
■ モーション検知設定の確認

- ①Mボタンを1回押します。
- ②下ボタンを9回押し、モーション検知を選択します。
- ③OKボタンを押します。
- ④モーション検知の設定がオフになっている事を確認します。
ドライブレコーダーとして使用する際は、必ず**モーション検知をオフに設定して下さい**。オンでは正常に録画されません。

● microSDカードのフォーマット

初めてご利用される場合は、必ずフォーマットをしてからご利用ください。

Mボタン
上選択ボタン

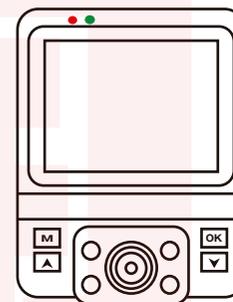


OKボタン
下選択ボタン

- ①車のエンジンをかけると、本製品の電源が入り自動的に録画が開始されます（赤い●が点滅します）
【OK】ボタンを押して、録画を止めます。
- ②【M】ボタンを2回押します。
メニュー画面が表示されます。（工具アイコンが青選択されている状態）
- ③【下選択】ボタンを何回か押すと「フォーマット」が表示されるので、選択状態にして【OK】ボタンを押します。
- ④「SDカード」を【OK】で選択するとmicroSDカード内のデータを全消去する注意文のあとに「キャンセル」「確認」と表示されます。
- ⑤「確認」を選択し【OK】ボタンを押すと、microSDカードがフォーマットされます。

● ドライブレコーダーの使い方

「初期設定」の内容を変更していただければ準備は終了です。車のエンジンをかければ、自動的に本製品の電源がオンになり録画が開始されます。
車のエンジンを切れば、録画の停止・保存を行い、本製品の電源が自動的にオフになります。
<本体LEDの説明>
・電源オン中は左のLEDは緑に点灯します。
・内部バッテリー充電中はLEDは赤に点灯します。



本製品には色々な機能や、細かい設定が可能となっています。初期設定の内容だけでなく、ドライブレコーダーとしてのご利用が可能です。必要な時は設定を変えてご利用ください。

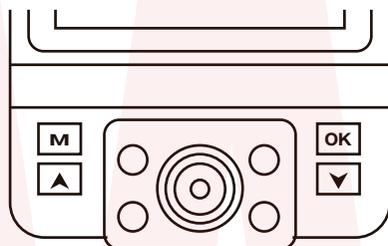
● 日時設定

- ①【M】ボタンを2回押します。
- ①【上選択】ボタンを1回押して「日付と時間設定」を選択します。
- ②【OK】ボタンを押します。
- ③【上下】ボタンで年を変更し、【OK】ボタンを押します。
- ④月が選択されますので、【上下】ボタンで変更…を繰り返し、日時設定を行います。
- ⑤YY/MM/DDの項目は変更の必要はありません。
【OK】ボタンを押してください。
- ⑥【M】ボタンを押して、日時設定画面を終了します。

続いて繰り返し録画（古い映像を自動的に削除して録画が停止しないようにする機能）と、動作検知の設定を行います。

各種ボタンについて

Mボタン
上選択ボタン



OKボタン
下選択ボタン

ボタン	機能	説明
電源	電源オンオフ	短く押す:電源オン 長押し:電源オフ
リセット穴	初期状態に戻す	再起動します
OKボタン	録画開始/停止 写真撮影/再生 再生 決定	動画モード:録画開始/停止 写真モード:短く押すと撮影 再生モードで短く押すと開始 メニュー表示時決定ボタン
Mボタン	モードの切替 動画のロック	長押し:モード切替 短く押す:設定画面 動画撮影時にデータをロック
上選択ボタン	上に選択移動 マイクのオンオフ 長押し:赤外線ライトオンオフ	メニュー画面で選択移動 写真モード:画像拡大 再生モード:前の画像に移動 動画モード:マイクのオンオフ
下選択ボタン	下に選択移動 表示カメラ切替	メニュー画面で選択移動 写真モード:画像縮小 再生モード:次の画像に移動 動画モード:カメラの表示を切替

●トラブルシューティング

- Q: microSDカードをセットしなくても使用できますか?
A: 設定も含め操作に問題ございますので、必ずmicroSDカードをセットしてからご利用ください。
- Q: 車のエンジンを入れても電源が入りません。電源が入ってもすぐ電源が落ちます。液晶モニターが正常に表示されません。
A: 内蔵の充電電池が完全に無くなっている可能性があります。電源が落ちたままの状態が結構ですので、30分ほどシガーソケットに接続したままにして充電を行ってください。そのあとに電源を入れ直して正常に動作するかご確認ください。
- Q: 使用する度に、日付や時刻、設定した項目がリセット（ご購入時の状態）されます。
A: 内蔵の充電電池が完全に無くなると、設定した項目がリセットされます。再度設定を行ってご利用ください。
(パーキングモードを使用時、録画回数が多いと内蔵の充電電池が早く減ってしまう場合がございます。頻繁にリセットされてしまう場合は、設定を切ってご利用ください。
- Q: カードエラーと表示されます。
A: microSDカードに問題が起きております。新しいmicroSDカードをご用意いただき、交換をしてご利用ください。(32GB class10推奨)
- Q: 電源は入りますが、どのボタンを押しても反応せず、何も操作ができません。
A: 誤動作により、何も操作できない状況になっている可能性があります。先の尖ったクリップなどをご用意いただき、リセット穴に差し込んでください。電源が強制的に遮断されリセットされます（設定した項目は消えません）



- Q: 128GBのmicroSDカードを入れましたが、録画ができません。
A: 本製品が対応するmicroSDカードは、～64GBまでとなります。128GBはご利用いただくことができません。
- Q: 日付・時間を設定をしても、しばらく経つと誤った日付と時間が表示されます。
A: 「ドライブレコーダー設定」の項目を確認し、「UTC+09:00」に設定されているかご確認ください。GPSの信号が正常に受信できる、建物があまり無い場所に移動してください。
※GPS電波を正常に受信した際に、正しい日付・時間が設定されます。

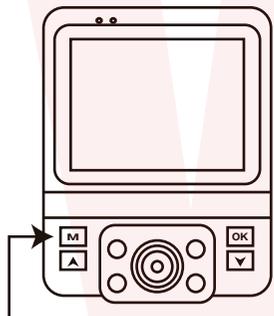
使い方

● モードの切り替え

モードを切り替えることで、動画撮影モード、静止画撮影モード、再生モードの切り替えができます。

録画中の場合は、【OK】ボタンを押して録画を停止します。

【M】ボタンを長押しして、ボタンから手を離すと、「動画撮影モード」→「静止画撮影モード」→「再生モード」→「動画撮影モード」…の順に切り替わります。



モード切替ボタン

● 動画撮影モード



電源がオンになると、上図のような画面になり撮影がスタートします。車のエンジンが止まると、自動的に電源がオフになり録画もストップします。録画中に【M】ボタンを押すと、カギのアイコンが表示され、録画中のデータにロックがかかります。ロックがかかったデータは、ロックを解除するまで削除や上書きループされません。

- ・上ボタン…短く押すとマイクのオンオフ
長押ししてリアカメラの赤外線ライトオンオフ
- ・下ボタン…モニターの切替(撮影自体は両方のカメラで行っています。)

● 静止画撮影モード設定

- 撮影モード…単写/2S/5S/10Sタイマー
- 解像度…4032×3024,3648×2736,3264×2448,2592×1944,2048×1536,1920×1080,1280×960,640×480
- 連写…オンにすると1回の撮影で3枚連写します。
- 画質…画質の設定をします。
一般→ノーマル→ファインの順で画質が向上しますがデータサイズは大きくなります
- ホワイトバランス…色調の補正機能を設定します
オート、晴天、曇天、タングステン(白熱灯)、蛍光灯
- カラー…カラー/モノクロ/タン(茶色っぽい色合い)
- 露出補正…-2.0～+2.0 マイナスにすると画像が暗く、プラスにすると現状より画像が明るくなります。
- 日付表示…日付、日時表示のオンオフ

● 動画撮影モード設定

録画をストップした状態で設定が開きます。【M】ボタンを1回押すと、動画撮影の設定になります。

- 解像度…1440×1080,1280×720(数値が高いほど綺麗な画質となります)
- デュアルモニター…オフにするとフロントカメラのみの撮影となります。
- ループ録画…microSDカードがいっぱいになった時のループ(上書き録画)が設定できます。
※カード容量が少ない場合は、1分がオススメです。
- タイムラプス記録…設定した秒数ごとに撮影します。
- WDR…ワイドダイナミックレンジのオンオフ。オンにすると明暗差が激しい映像を補正します。例えば夜の撮影の場合、明るいところは問題なく見えるレベルに保ちつつ、暗いところは明るく補正してくれます。
- GPS印…GPSデータ記録のオンオフ
- 速度単位…KM/H(キロメートル)/MPH(マイル)の切替
- 露出補正…マイナスにすると画像が暗く、プラスにすると現状より画像が明るくなります。

◆Gセンサーについて

Gセンサーをオンにしていると、ドライブレコーダーが衝撃を感知した場合、自動的に録画中のデータにロックがかかります。(録画中にMボタンを押すのと同様です) 衝撃の感知は低い→ミディアム→高いの順で、感度が高くなります。

「高い」に設定した場合、ちょっとした振動でもロックがかかる場合があり、上書きできないロックファイルが増え、microSDカードがすぐにいっぱいになる可能性があります。あらかじめ感知具合を確認の上、設定することをおすすめいたします。

● 静止画撮影モード

◆静止画撮影画面
写真撮影 手ぶれ補正 撮影可能枚数



- ①電源を入れると動画撮影がスタートしますので、【OK】ボタンを押して、録画を止めます。
- ②【M】ボタンを長押しして、静止画撮影モードに変えます。
- ③【OK】ボタンを押すと写真が撮影されます。

● 画面の自動消灯

本機の電源が入り録画を開始した後、設定した時間後に画面を自動的に消すことができます(画面が消えてる間も録画は継続されます)

画面を表示したままの設定も可能ですが、運転中のわき見運転に繋がる、内蔵バッテリーの無駄な消費、液晶の寿命を伸ばす為にも必要以外は消してのご利用をお勧めします。

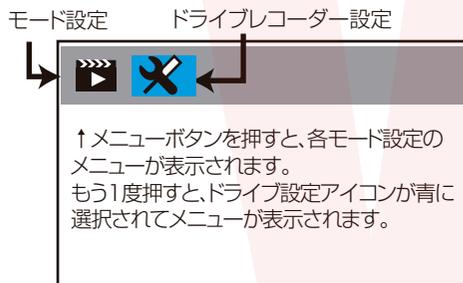
- ①録画中の場合は、【OK】ボタンを押して録画を停止します。
- ②【M】ボタンを2回押します。
- ③マボタンを5回押し、スクリーンセーバーを選択します。
- ④OKボタンを押します。
- ⑤マボタンを何回か押し、オフ(点灯したまま)、1分、3分、5分の中から選択します。選択した分後に画面が自動的に消灯します(消灯中も録画を継続します。)
- ⑥【OK】ボタンを押します。
- ⑦【M】ボタンを押します。

設定について

● ドライブレコーダー設定

ドライブレコーダーの設定を行います。録画中は設定できませんので、【OK】ボタンを押して録画を停止してください。

【M】ボタンを2回押すと、ドライブレコーダーの設定画面が表示されます。



● 撮影したデータをパソコンで見る

付属のUSBケーブルを**必ず先にカメラのmicroUSBポートに差し込み、その後パソコンのUSBポートと接続します**。カメラの電源が入り、「ディスク」「PCカメラ」という選択ができます。

撮影したデータを見るには、「ディスク」を選択しOKボタンを押します。フォルダが表示されます。表示されない場合は、以下の動作を行って下さい。

○Windows8の場合

アプリ一覧→PCをクリックします。

「リムーバブルディスク」をダブルクリックします。

○Windows10の場合

スタートメニュー→エクスプローラー→デバイスとドライブでドライブをダブルクリックします。

○下記のフォルダ内に各データが保存されています。「リムーバブルディスク」内の「CARDV」フォルダ内に保存されます。動画は「MOVIE」静止画は「PHOTO」フォルダに保存されています。ファイル名末尾Aはフロントカメラ、末尾Bはリアカメラの映像となります。ダブルクリックすると再生されます。※録画したデータが大容量になる場合があるため、撮影データをパソコン本体にコピーしてから再生することを推奨しています。

● ドライブレコーダー設定

<操作方法>

△またはマで項目の移動

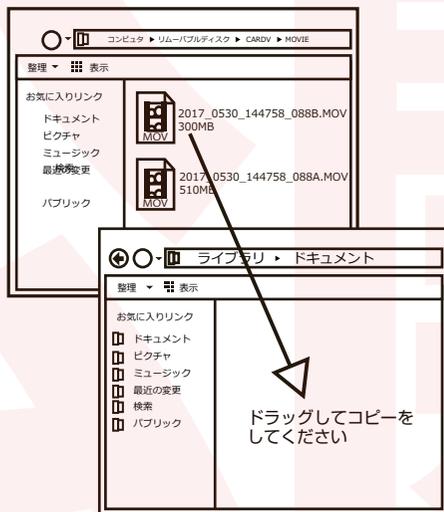
【OK】ボタンで選択

【M】ボタンで戻る

- 日付と時間設定…日時の設定を行います。
- オートパワーOFF…自動的に電源が切れる時間を設定します。電源OFFを指定すると、電源が切れると同時に録画もストップします。**通常時はオフにしてください。**
- 操作音…メニュー操作時の音のオンオフ設定
- 言語…メニューの言語を設定します。日本語以外を使用する場合はここで設定を変更して下さい。
- スクリーンセーバー…液晶画面がオフになるまでの時間を設定します(画面が消えても録画は継続されます)
- GPS…GPS情報の記録のオンオフ
- GPSinfo…GPSの現在情報が確認できます。
- IRLED…リアカメラの赤外線ライトの設定
※赤外線ライトの画像はモノクロになります。
- 世界標準時間と日本との時差…本装置はGPSによる自動時刻調整方式を採用していますので**UTC+09:00**にして下さい。
- TVモード…NTSCを選択して下さい。
- 周波数…50Hz(東日本)60Hz(西日本)に設定します。
- ミラーモード…リアカメラの映像の左右入れ替え

● 撮影したデータをコピーする

撮影したデータをパソコンにコピーする場合は、下記のように保存したい場所へ(この例ではドキュメントフォルダ)ドラッグしてコピーをしてください。



パソコンに接続中はボタン操作は行わないで下さい。

※ミラーモードは静止画撮影モードでは使用しないでください。

- SDカードの空き容量…カード容量の詳細表示
- ナンバープレート…任意で数値を入れる事ができます同じドライブレコーダーを複数台使用している場合などに、区別をつけることができます
- フォーマット…microSDカードを初期化します
- デフォルト設定…初期状態に戻します
- バージョン…ドライブレコーダーのシステムのバージョンです

● 再生モード

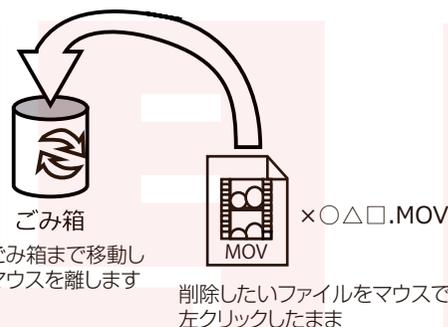
- ①電源を入れると動画撮影がスタートしますので、【OK】ボタンを押して、録画を止めます。
- ②【M】ボタン長押しを2回行い、再生モードに変えます。

【上下選択】ボタンで撮影データを切替、【OK】ボタンで再生します。

■ 再生モード設定

- 削除…現在のファイルを削除する/全コマ削除
- 保護…上書き保存されないようにファイルにロックをかけたり、ロックを外したりする事ができます
- スライドショー…撮影データを指定した秒数ごとに順次再生します。

● 撮影したデータを削除する



データをごみ箱に入れた場合は、即削除されますのでご注意ください。

撮影したデータを再生中の場合は、削除をする事ができません。再生を停止した後、ごみ箱に入れてください。

● パーキングモードについて

パーキングモードを使用するには、動画撮影のモード設定**【駐車監視】**をオンにします。

車のエンジンが切れている時、衝撃を感知すると自動的に電源が入り録画を開始します。約1分間撮影後、自動的に電源がオフになります。パーキングモード中の撮影は自動的にロックがかかります。



パーキングモードの時はここにアイコンが表示されます

● 本体をパソコンから取り外す

本製品をパソコンから取り外す際は、必ずタスクバーに表示されている(画面右下の時間表示の左側に表示されます)「ハードウェアの安全な取り外し」のアイコンをクリックしてください。



メニューの指示に従い、ドライブを選択して取り出しの文字をクリックするか、「CARDV」の取り出しの文字をクリックしてください。

しばらくすると、安全に取り外しができるメッセージが表示されます。その後に、パソコンから本製品を取り外してください。

ファイルの書き込み中等に、本製品をいきなりパソコンから取り外すと、本商品の破損やファイルの破損に繋がりますので、ご注意ください。

● GPSデータの確認方法

■ソフトのインストール

記録されたGPSデータをパソコンで確認するには、専用のソフトをダウンロードする必要があります。本製品商品ページからダウンロードするか、もしくは下記アドレスからダウンロードして下さい。(約86MB)

<https://data.thanko.jp/download/app/AZDOMEPlayer-2.0-x32-Setup.zip>

ダウンロードしたファイルを右クリック→解凍→デスクトップに解凍を選択します。デスクトップにAZDOMEPlayer-2.0-x32-Setupフォルダが出ていますので、フォルダを開き、AZDOMEPlayer-2.0-x32-Setup.exeをダブルクリックし、任意の場所にインストールします。下記のようなメッセージが表示された場合、「詳細情報」をクリックし、「実行」をクリックするとインストールが可能です。



● 画面詳細



フォルダ
読み込み

使い方

◆ファイルの開き方

画面左下にあるファイルアイコン(青いアイコン)をクリックすると、フォルダを選択する画面になります。撮影したフォルダを選択すると、自動的に動画が読み込まれ、再生が始まります。



動画を直接ソフトにドロップしても動画を読み込むことができます。

◆Googleマップの表示

画面右上にある歯車アイコンをクリックすると、設定画面が開きます。



地図でGoogle地図を選ぶとGoogleマップが表示されるようになります。

撮影画面について



※撮影データの速度表示は、GPS情報の速度とは若干異なる場合があります。

※GPSデータは、情報取得の関係で、走行開始後通常約5分程度取得されない場合があります。電源オン直後は液晶画面にGPSが表示されています。GPSに変わればGPS情報が取得されています。

●故障かな?と思ったら●

お問い合わせ・修理をご希望をされる場合
support@thanko.jpに空メールをお送りください。
自動返信でご案内いたします。

※自動返信が来ない場合

送信前に「@thanko.jp」のメールが受信できるよう設定の上送信してください。
QRコードを読み取り、空メールを送信できます。



不具合品のご送付先

ご送付いただくだけでは対応ができない為、必ず空メールをお送りいただき、自動返信メール内容を確認の上ご送付ください。

チバケン ナラシノシ アカネハマ

〒275-0024 千葉県習志野市茜浜 2-3-1

EL内 サンコーサポート宛

TEL 03-3526-4328

(月～金 10:00～12:00 13:00～18:00 土日祝日を除く)

お問い合わせメールアドレス : support@thanko.jp

●仕様

サイズ	幅65×高さ83×奥行32(mm)、104g
電源	DC12～24V
バッテリー	リチウムポリマーバッテリー 450mAh/3.7V
付属品	本体、吸盤アタッチメント、USBケーブル(75cm) USBケーブル(350cm)、シガープラグ、 ケーブルクリップ、内装剥かし、日本語説明書
液晶サイズ	2.4インチカラーLED
画角	フロント:135度 リア:118度
絞り	フロントカメラ F=1.8 / リアカメラ F=2.6
記録メディア	microSDカード(16～64GB Class10推奨)
記録ファイル	動画:フロント 1440×1080,1280×720 リア:1280×720 静止画:フロント:4032×3024,3648×2736, 3264×2448,2592×1944,2048×1536, 1920×1080,1280×960,640×480 リア:1280×480
フレームレート	フロント/リア 30fps
ファイル形式	動画:mov形式 静止画:jpg形式
録画時間	32GBのmicroSDカード使用 1440×1080で撮影した場合約3時間 (※状況により異なります)
画素数	約200万画素
コーデック	H.264
ビデオ出力	miniHDMI/AV (別途ケーブルが必要です)
マイク・スピーカー	内蔵
Gショックセンサー	内蔵
赤外線LED	4灯(リアのみ)
対応OS	Windows 8/10(※Windowsのみ対応)
パッケージサイズ	幅112×高さ64×奥行160(mm)
パッケージ重量	400g

ご注意

操作を行う場合は、車を停止後に行ってください。

事故発生時に映像が記録されていない場合、記録した映像が破損した場合など、製品動作の有無にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

※microSDカードは付属いたしません

※カードエラーが表示された場合は、microSDカードに問題が起きております。別のmicroSDカードをご用意いただき、交換してご利用ください。(microSDカードは消耗品となります)

※使用の際は、必ず正常に動作しているかご確認の上ご利用をお願い致します。

※シガーソケットから給電をしながらのご利用をお願い致します。USBでの動作、シガーケーブルを改造してのご利用はサポート外となります。

※記載されている物以外は付属いたしません。

※分解しないでください。

※本製品をご利用において生じる事故や荷物破損、ケガなど一切の責任は負わないものとします。

※異常を感じたらご使用をやめてカスタマーサポートまでご連絡ください。

※本製品をご利用において生じる物品の破損は、保証の対象外となります。

※ご使用中においてのお客様の過失による故障、破損、改造等はサポート保証の対象外となります。

※正しく使用されない場合に生じた事故等について弊社での責任は負いかねます。

※製品仕様は改善のため予告なく変更する場合があります、そのため説明書記載の内容と異なる場合があります。

※本製品は日本販売向けの商品となります。海外でのご利用はサポート外となりますのでご了承ください。

※一部の断熱ガラス、熱吸収ガラス、ミラー式フィルム装着車の場合、GPSからの電波が受信できない場合があります。

※電波が弱い地域では地上デジタルテレビ放送が映らない場合があります。

※本製品を船舶、航空機、バイク、自転車では使用しないでください。

※本製品はDC12V/24V車専用です。

※故障による代替品のお貸出は行なっておりません。